

Oguchi おおぐち社協だより

Shakyo

2021
10
月号
年4回発行
(4月・7月・10月・1月)

第**116**号



あなたと私は、
赤い羽根でつながっている。

「あの人」を支えたい。困ったときはお互いさまだから。
その小さな思いが、街角から、ネットから、地域の住民から集まってくる。
意志あるお金は「あの人」を支えるための力となる。募金をする人、活動をする人、支えられる人。
みんな、赤い羽根でつながっているのですね。

意志あるお金、募金のチカラ。

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金
10月1日
スタートします

みなさまのあたたかい
ご協力をお願い申し上げます

赤い羽根
特集ページ
P.14~15



CONTENTS

- ② ★フードドライブ&フードバンクで
食品ロス削減と社会貢献
- ④ ★コロナ禍で直面した生活課題
新型コロナウイルス感染症生活支援
新型コロナワクチン接種おたすけサービス
社協の車両貸出サービス／おたすけ隊サービス
運転ボランティア
- ⑥ ★令和2年度社協事業報告／決算報告
- ⑩ ★ボランティア情報局 夏休みボランティア出前講座
- ⑫ ★ぎゅっと いざという時に備えて
- ⑬ ★介護豆知識 健康クイズ
- ⑭ ★赤い羽根共同募金 児童生徒作品コンクール展示予定
- ⑮ ★大口町共同募金委員会 令和2年度事業報告
- ⑯ ★生活福祉資金の特例貸付 申込期間を延長
★心配ごと相談所 母子・父子自立支援相談
★善意だより

社会福祉法人

大口町社会福祉協議会

事務局

月～金(土日祝・年末年始休) 8:30～17:15
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階

ホームページ

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>

Eメール

chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp



フードドライブ&フードバンクで 食品ロス削減と社会貢献

地域のみなさまから提供された食品を社協がつなく「食の支援」



眠っていませんか？
食べきれない食品

食べ残し、売れ残りや期限が近いなど様々な理由で、食べられるのに捨てられてしまう食品「食品ロス」。日本の食品ロス量は、年間約600万トン、人口1人当たり年間約47キログラムと言われています。

そのごみ処理には、環境負荷や多額のコストがかかっています（政府広報オンライン）。

ご家庭でも、災害や外出自粛の備えとして買ったもの、もらいものなど、期限内に食べることができず、「もったいないな...」と思いつつ捨ててしまった経験のある方は、少なくないのではないでしょうか？



余っている食品を困っている方へ

このような「まだ十分食べられるのに余っている食品」を持ち寄り、食品ロスを削減しながら、困っている方などに届ける社会貢献のしくみがあります。それが、フードドライブとフードバンクです。

「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を募集場所に持ち寄り、地域の福祉団体などに寄贈する活動。「フードバンク」は、主に企業などで発生する賞味期限が近い食品や規格外食品、防災備蓄品などを寄贈してもらい、困っている方・地域の方へ届ける活動やその団体のことを言います。



フードドライブ実施中

社協窓口で食品を常時募集しています

- 賞味期限が明記されており、期限が1カ月以上残っているもの
- 未開封のもの（外装が壊れていても個別包装は可）
- 常温保存できるもの（冷凍冷蔵不可）
- アルコールでないもの
【例】缶詰、インスタント食品、レトルト食品、パスタ、米（事前にご相談ください）、飲料、お菓子、調味料等



ご家庭からの提供例



（株）東海理化 様 贈呈式

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

（株）東海理化様が防災備蓄品を社協へ寄贈

ひとり親家庭の方、求職中の方など、
コロナ禍で食料にお困りの方へ

食品をお分けします まずはお電話ください

■問合せ先 社会福祉協議会

電話 94-0060 FAX 94-0059

社協のフードドライブ・フードバンクで集まった食品の活用として、一時的な食料不足のご相談内容に応じて、一部を無料でお分けします。

世帯状況や食品の在庫数により、社協窓口でお分けできる食品数には限りがあります。

詳しくは、問合せ先までお電話ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、生活費に困っておられる場合は、資金貸付制度をご案内することがあります。(詳しくはP.16をご覧ください。)



フードドライブ・フードバンクで集まった食品例

社協のフードドライブ・バンク

社協は、一時的な生活費・食料の不足で困っている方の相談窓口があります。

以前は外部から食品を取り寄せていましたが、大口町で食品を持ち寄ることで、地域のたすけあいや食品ロスの削減に

つなげていけるのではないかと。そんな思いで、常設のフードドライブを計画しました。

また数年前から、地域の企業様の社会貢献活動の支援として、余剰食品の寄贈を受け、食料不足の方や地域の集いの場などに配布するフードバン

ク的な活動も行ってきました。

これらを整理し、令和3年4月からフードバンク事業を開始。

その反響は大きく、町内外の住民の方、企業様から社協に食品が寄せられています。

食品ロスを削減し、社会貢献を。みなさまも、ぜひ社協の「食の支援」にご協力をお願いします。



(株)シルビア様寄贈品の活用例(さつきヶ丘区元気会)

ありがとう
ございました

非常食アレンジレシピ

パラパラにんにくチャーハン



- ①乾燥米飯は水またはお湯でもどす
- ②にんにくはみじん切り、ベーコンは細切りにする
- ③サラダ油でとき卵とにんにく、ベーコン、もどした米を炒めてできあがり!

町内企業様の社協フードバンクへのご協力

寄贈企業名	寄贈食品	数量
(株)東海理化様	防災備蓄品(保存用ビスコ、クラッカー、パン、非常用炊き出しセット)	968個
リンナイ(株)様	保存用ビスコ	1,080個
(株)シルビア様	ドーナツ、ビスケット	420個

ご家庭の社協フードドライブへのご協力

寄贈者	寄贈食品	件数数量
大口町・扶桑町・江南市の住民の方	インスタント、レトルト、飲料、調味料など	13件 322個

(令和3年4月1日～8月31日まで受付分)

コロナ禍で直面した生活課題

大口町内で困っている人のニーズにどうこたえるか？



ワクチン予約

1回目の新型コロナウイルスワクチン接種が始まった令和3年5月頃、「どうしても予約がでず困っている」という方が出てきました。

ひとり暮らしや、高齢者・障がい者だけで生活している方の中には、「予約電話が繋がらず、インターネットなど他の予約方法がわからない」「代わりにやってくれる家族がいない」「役場へ相談に

行くことも困難」といったケースがあり、どのように接種の機会を確保するかは、喫緊の課題となりました。

そこで社協では、『新型コロナウイルスワクチン接種おたすけサービス』として、希望者から電話相談を受けて、ご自宅を訪問し、ワクチンの予約を代行するサービスを緊急的に企画しました。

足の問題も



さらに、予約代行サービスの相談を受ける中で、接種会場へ行くための「足」の問題も浮上してきました。

高齢者、障がい者、病気

の方などの中には、バス停が遠く歩いて行けない、経済的に苦しいなどの理由で、普段から気軽にバスやタクシーを利用できない方があります。

社協は、これまでの運転ボランティア養成の経験を活かし、ボランティアさんと社協職員が2人1組となり、社協の貸出車両でワクチン接種会場までの送迎サービスを行うこととしました。

送迎の先に

こうして、困っている人のニーズに応じて、ワクチンの予約代行から送迎まで、無料でサポートするおたすけサービスが令和3年6月からスタートしました。

8月までの期間中、24名の方が予約代行・送迎（いずれか一方を含む）を延べ40回利用。

WEB予約や町健康生

きがい課への相談などを組み合わせた予約代行、ご自宅から集団接種会場（町中央公民館）や町内医療機関への送迎をお手伝いしました。

今回、緊急的に行ったおたすけサービスでしたが、足の問題で困っている人をサポートするしくみを地域のみなさんとも考え、ともにつくっていく必要性を改めて感じています。（職員〇）



運転ボランティアさんと社協職員が2人1組で送迎

■運転ボランティア

河島 宝夫さんの話

「ワクチン接種会場まで送迎するボランティアが、テレビでも紹介されていました。運転が好きなので、これなら自分にもできそうだと思います、社協へ申込に行きました。」

定年後、初めてボランティアに参加しましたが、お役に立ててよかったです。」

新型コロナウイルス感染症 無料 生活支援



買い物の一例

自宅待機の期間中、日常生活に必要な食料などの買い物代行、薬の受け取りなどその他相談に応じます。

社協職員が、個人情報保護と非接触・感染予防対策を徹底してお手伝いします。

利用料無料(買い物代など実費負担)。

外出制限で
新型コロナウイルス感染症が大口町内でも拡大してきた頃、感染者や濃厚接触者として自宅療養・待機となり、外出制限で困っている方が出てきました。手伝ってくれる親族などがいたり、日頃から通販や宅配などを利用したりする方は、外出制限を乗り切る方法が見つかりやすいかもしれません。しかし、こうした方法

を利用することができない方にとっては、「今日欲しい食べ物が急に買に行けなくなった、薬がもらえない」という事態は深刻です。
そこで、申込者の方と直接会うことなく、丁寧な連絡をもとに、必要な物資を置き配でお届けする生活支援をスタート。
社協は、大口町で暮らす方の生活課題に対し、ひとつひとつ、新たにできることを始めています。

新型コロナワクチン接種 無料 おたすけサービス

高齢や障がいなどで、親族等に予約を手伝ってもらうことができない方、公的サービス・公共交通機関やタクシー等での移動が困難な方を対象に、社協職員がサポートします。



① ワクチン接種の予約支援

社協職員がご自宅を訪問し、接種のWEB予約などを支援します。

② ワクチン接種会場までの送迎

社協職員が運転ボランティアとともにご自宅を訪問し、社協の車でご自宅と接種会場間の送迎を行います。

社協の車両貸出サービス



車いす専用自動車のほか、地域の送迎サービスに利用できる普通自動車を低額で貸し出します。

万一の事故時は、社協が加入する自動車任意保険で対応しますので、安心してご利用いただけます。詳しくはお問合せください。

- 貸出車種 ①車いす専用自動車
②普通自動車(地域活動に対する貸出)
- 貸出回数 原則月2回まで
- 利用料金 利用料1回300円(ふれあいサロン送迎は利用料無料)利用料に加え、走行距離15km未満200円 15km以上10km単位200円

おたすけ隊サービス



通常のおたすけ隊も、感染予防対策を行いながら活動中!

高齢者などの方の掃除、ごみ捨て、買い物など簡単な家事の生活課題について、地域の協力会員さんがお手伝いします。

20分200円～(1回最大80分まで)

登録者募集 運転ボランティア

移動に困っている人を送迎するボランティアに興味のある方を募集しています!

コロナ禍の状況が落ち着き次第、自動車学校で、安心安全な運転ボランティアに必要な講習を予定しています。お気軽にお問い合わせください。



令和2年度講習の様子

令和2年度 社協事業報告

去る令和3年5月21日(金)の理事会、評議員会(書面決議)により、令和2年度の事業報告と決算報告が承認されました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、やむをえず中止せざるをえない事業がありましたが、生活に欠かせない事業の継続と、代替事業の企画と実施により、地域福祉の推進に努めました。

法人運営の基盤強化

理事会・評議員会の開催

●理事会

- 第1回 令和2年6月 1日
- 第2回 10月12日
- 第3回 令和3年3月17日

●評議員会

- 第1回 令和2年6月23日
書面開催
- 第2回 令和3年3月26日



社協会員募集

- 一般・賛助会員 4,760件
- 法人会員 104件
- 会費合計金額 3,122,400円

行政関係の会議等の出席

- 大口町地域包括ケアシステム推進協議会、高齢者サービス調整会議、障がい福祉調整会議、子ども・子育て会議、成年後見制度利用促進計画策定委員会等

機関紙発行事業

- 「おおぐち社協だより」を計4回発行
- ホームページで運営に関する情報を公表、事業をPR

顕彰表彰事業

- 大口町表彰式を開催
社協会長表彰 8名
(うち家庭介護5年以上4名)
社協会長感謝 2団体、3名
- 愛知県社会福祉大会
県社協会長表彰 1団体
県社協会長感謝 6名
県共同募金会長表彰 2団体

職員研修

- コミュニティソーシャルワーカー養成研修
修了者1名 累計3名
・社協合同研修(中止)

福祉サービス苦情解決制度

- 第三者委員報告件数 7件

令和2年度 社協決算報告

収入の部

項目	金額(単位:円)
会費収入	3,122,400
寄付金収入	686,264
補助金	34,349,000
助成金・受託金	5,773,717
貸付事業等収入	400,700
共同募金配分金	3,694,034
介護保険事業等収入	57,410,092
支援費等利用料収入	9,908,205
施設整備等寄付金収入	713,600
サービス区分間繰入金収入	2,000,000
繰越金(前期)	26,468,058
収入合計	144,526,070

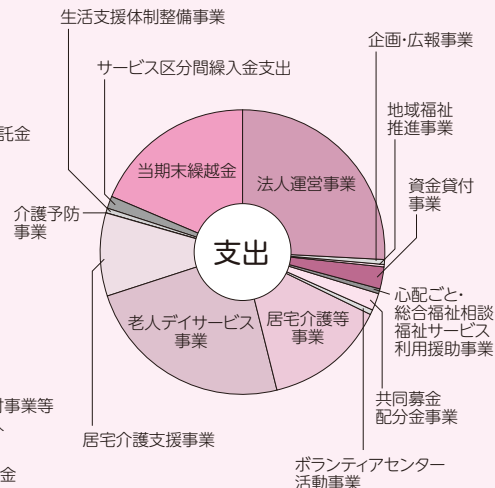
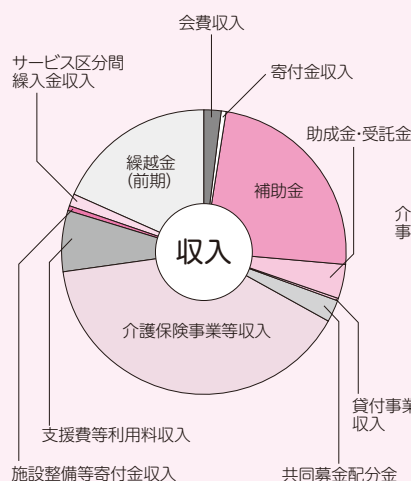
支出の部

項目	金額(単位:円)
法人運営事業	37,418,658
企画・広報事業	957,855
地域福祉推進事業	455,675
資金貸付事業	3,636,462
心配ごと・総合福祉相談・福祉サービス利用援助事業	582,996
共同募金配分金事業	2,997,235
ボランティアセンター活動事業	603,270
居宅介護等事業	20,194,627
老人デイサービス事業	34,399,810
居宅介護支援事業	13,617,452
介護予防事業	6,911
生活支援体制整備事業	1,050,451
サービス区分間繰入金支出	2,000,000
当期末繰越金	26,604,668
支出合計	144,526,070



みなさまを応援する地域福祉

※令和2年度の事業報告、財産目録、資金収支計算書、貸借対照表は、本会公式ホームページで公開しております。窓口で閲覧希望の方は、本会までお申し下さい。



「支え合いの地域づくり」の推進

ボランティアセンター事業

●ボランティア養成講座、研修の実施

①運転ボランティア

養成講座

10月28日

(参加者数 4名)



②大口町手話サークル

コスモス研修

ろう劇団いぶき

講演会共催

11月12日



●大口町ふれあいまつりの代替事業「YYまつり」

ボランティアパネルの展示

●ボランティア活動育成費の助成

●ボランティア連絡協議会の活動支援(年5回)



●ボランティア保険加入及び事故時等の事務

ボランティア活動保険加入者数

団体 36団体、個人 3名

総加入者数 449名(事故件数 0件)

●ボランティア活動やボランティア派遣に関する相談 9件

●ボランティアセンター運営委員会を開催

令和2年7月27日

・夏休みボランティア出前講座、ボランティア合同研修会、西尾張ブロックボランティアフェスティバル(中止)

高齢者福祉

●85歳以上の単身高齢者・高齢者世帯に対し、民生委員と大口町水彩画クラブの協力により、おせち料理配布事業を実施

令和2年12月30日(配布数70世帯)



●満88歳の米寿の方に、敬老のお祝い品と絵手紙、メッセージカードを贈呈(配布数 72名)



●99歳以上の方に敬老お祝い品を贈呈(配布数 11件)

●介護者向け情報『介護豆知識』を社協だよりに掲載

●認知症の人やその家族の支援、認知症予防の場として、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営支援(1回)、中止時のメッセージカード郵送(4回)

●孤立しやすい高齢者等を含め、地域住民の交流の場を広げる地域ふれあい会食会(テイクアウト方式)の開催を支援(実施サロン 3か所 件数 4件)

児童福祉

●町内小中学校と協働で、福祉教室(福祉実践教室・総合学習)を実施し、福祉教育を推進(参加児童・生徒数 延832名)



●子育て支援サークルの活動支援

●おもちゃ病院「おおぐち」支援

●民生委員児童委員のドアノッキング事業に実施協力し、赤ちゃん訪問時にお祝い品をプレゼント(5ヶ月訪問 215名、1歳訪問 210名)

●青少年等ボランティア福祉体験学習事業、福祉施設見学バスツアー(中止)

貸出事業

●福祉車両、車いす、障がい者スポーツ用具等の貸出サービス(総貸出件数 154件)



「支え合いの地域づくり」の推進

障がい児者福祉

- 大町障がい者スポーツ大会の代替事業として、『障がい者スポーツ大会今昔物語』パネル展を喫茶ほほえみの協力で実施 来場者数1,038名
パネルの内容を冊子にまとめ、参加者と大会関係者に配布



- おもちゃ図書館さくらの活動支援
- 「フリースペースれんげそう」の運営支援
(屋外での青空れんげそうを開催)



- 障がい者スポーツ用具の貸出 4件
- 障がい者スポーツ指導員の派遣 2件
- ・身体障がい者日帰り旅行(中止)

母子父子福祉

- ひとり親家庭日帰り旅行の代替事業として、お食事券(2,000円分)を対象世帯に配布
配布数 187件
- 母子寡婦福祉会の活動支援
- 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝い金を贈呈
贈呈数 12件



食料支援

- 生活困窮者などの緊急一時的な食料支援を実施
支援件数 15件



行政区への赤い羽根共同募金配分

- 前年度の共同募金実績額に応じ、行政区の地域福祉活動に対し募金を配分

福祉関係団体への助成・活動支援

- 大町町身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、更生保護女性会、母子寡婦福祉会、保護司会、遺族会、尾北地区聴覚障害者福祉協会、大町しらゆり会への助成

ふれあいサロン

- サロン備品について、設立初年度の購入、故障・破損等による買替の助成
- サロン開催実績回数に応じた助成
- サロン活動で必要な備品の貸出
- サロンのPRや広報等ちらしを作成
- 地域サロンの運営関係者が集い、情報交換を行う「ふれあいサロン連絡会」を実施
令和3年3月30日(参加者数 16名)



- 地域サロンが開催する地域ふれあい会食会(テイクアウト方式)の支援
- ふれあいサロン活動再開アンケート調査
- テーマ型サロンの運営支援

生活支援体制整備事業

- 第2層協議体(北地域)生活支援コーディネーターの受託
活動件数 77件(会議・研修等を含む)
- ふれあいサロン活動の拡大を推進
- 地域包括ケアシステムの啓発
- 住民参加型の生活支援「おたすけ隊サービス」
利用会員 40名
協力会員 20名
年間活動件数 延54件



- 新型コロナウイルス感染症生活支援サービス 1件
- 電動カート試乗体験事業 11件



「伴走型の個別支援」の充実

総合福祉相談事業

- 地域住民の多様な生活課題などに関して、幅広く相談に対応
- 必要に応じ相談者と契約し、専門職が支援計画をもとに個別支援を実施
- ①福祉サービス利用援助
- ②日常的な金銭管理サービス
- ③日常生活に必要な事務手続き援助
- ④書類や通帳などの預かりサービス
- ⑤その他、世帯のニーズに応じた支援

対象者	契約者数	延支援件数
認知症等高齢者	3名	213件
知的障がい者 精神障がい者	6名	904件
合 計	9名	1,117件

福祉サービス利用援助事業

- 日常生活自立支援事業／愛知県社会福祉協議会委託事業
- 訪問調査、契約締結審査会への審査依頼
 - 利用者と契約し、生活支援員と専門員が支援計画をもとに上記①～④の個別支援を実施

対象者	契約者数	延支援件数
認知症等高齢者	1名	447件
知的障がい者	5名	1,380件
精神障がい者	1名	401件
合 計	7名	2,228件

貸付事業

- 生活福祉資金貸付制度の相談業務
相談件数 118件
- 新型コロナ特例貸付事務

資金種別	件数
特例緊急小口資金(社協)	70件
特例総合支援資金(社協)	3件
特例緊急小口資金(東海労金)	7件
特例緊急小口資金(郵便局)	4件
合 計	84件

- 民生員と連携し、生活福祉資金の借受人世帯に対する償還指導
- 県くらし資金貸付
貸付状況 7件
- 町くらし資金貸付
貸付状況 31件



心配ごと相談所

- 県女性相談員による女性相談
- 県母子・父子自立支援員による自立支援相談
- 弁護士による弁護士相談を実施
(相談者数 延21件、相談内容49件)

平常時における災害の備え

大口町防災啓発事業

- 災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施
11月14日 参加人数 35名



- 『大口町版 避難所における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』編集
- 尾北看護専門学校の防災訓練における地域ボランティア講習の実施
- 災害時相互応援協定事業
岩手県遠野市社協関係者との情報共有
- 防災パネル展「忘れない3.11」 ●防災備品の整備

安心・安全な介護サービスの提供

- 大口社協居宅介護支援事業所(ケアマネ)
介護保険 利用者実人数 124名
- 大口社協訪問介護事業所(ヘルパー)
介護保険 利用者実人数 24名
障害者総合支援 利用者実人数 28名
- 大口社協デイサービスセンター
介護保険通所介護 21名
介護予防通所型サービス 12名
介護予防通所型ミニデイ 18名
(令和3年3月末現在の利用者実人数)





ボランティア情報局



ボランティア出前講座

コロナ禍の中で開催できたことに感謝いたします。
みなさま、ありがとうございました。



大口町手話サークル コスモス

8月4日(水)、西児童センターにて、14人の参加者でおこなわれました。手話で自己紹介やあいさつなどを表現しました。ジェスチャー当てクイズでは、カードに描いてある絵や身近なものを表したりして、言葉を使わないで人に伝えることの体験をしました。

毎週木曜日午前10時から12時まで、健康文化センターボランティア室にて活動



手話で自分の名前を伝えてみよう!



あっ、わかった! きっと、あれだ!



よ〜く見ててよ。ほら、こんなふうに見えるものだよ



レクリエーションボランティア こね

奇数月の第3水曜日
午後1時30分から
午後3時まで

8月4日(水)南児童センターにて、30人の参加者でおこなわれました。新聞紙を使ったゲーム、手作り紙しばい、ゆっくりとした動きをしながらの体を使ったゲームなど、どれも室内で楽しめるレクリエーションでした。



じゃんけんぽん! 負けたら、新聞紙を半分にしていくなだよ〜



ピーマン好き? ピーマンは、種にも栄養があるんだよ



これは何のポーズでしょうか?

高齢者疑似体験 うさぎとかめ

奇数月第3水曜日午前9時30分から11時まで、
健康文化センターボランティア室にて活動



8月5日(木)、西児童センターにて、15人の参加者でおこなわれました。指先や手足の不自由さ、聞こえにくさ、見えにくさを疑似体験することで、日常生活でのお年寄りの感じ方を体験しました。



見えづらいし、動きづらいなあ。
おじいちゃんはこんな気持ちで歩いているんだあ

おもりは、手にも足にも
つけるからね



手袋とおもりがなければ、
もっと上手に豆を
はさめるのにね



傾聴ボランティアだんぼ

傾聴サロン笑桜会、特別養護老人ホーム御桜乃里で
の傾聴活動は、現在お休み中。傾聴に興味のある方は
社協94-0060までお問合せください。

8月5日(木)、南児童センターにて、30人の参加者でおこなわれました。紙しばいのお話をじっくり「聴く」体験をしました。代表者さんが得意の手品を披露し、その種明かしの内容を真剣に聴いた子どもたちが、実際に手品をしました。「話を聴く」→「楽しい!できた!」→「もっと、聴いてみよう!」そんな体験ができました。



初めての
ボランティア出前講座に
ちょっとドキドキ~

どうやったら、
あんなふうに見えるのか、
聴いてみなくちゃ



ちゃんと種明かしを聴いていたから、
上手にできたね

大口町災害救援ボランティア

毎週第3土曜日午前9時30分から12時まで、
健康文化センターボランティア室にて活動



8月20日(金)、北児童センターにて、11人の参加者でおこなわれました。子どもの防災ビデオをみた後、大きなポリ袋を使って、災害用トイレとカップを作りました。急な大雨のときにも使えるカップには、好きな模様や絵を描いて、防災を楽しく学ぶことができました。

こうしたら、トイレになるでしょ。



急なときに使えるから、
おうちの人にも教えて
あげてね



そうそう、まっすぐ切るんだよ。
上手!





大口子育て情報

ぎゅっと

【編集】大口町NPO登録団体
「まみーぽけっと」

【HP】<http://www.geocities.jp/mammypocket2003/>

長引く大雨、猛暑など「異常気象」と言われるものが、毎年のように起きています。洪水や地震がいつ起きても不思議ではありません。普段から、いざという時に備えておきましょう。

自宅の家具転倒防止対策を

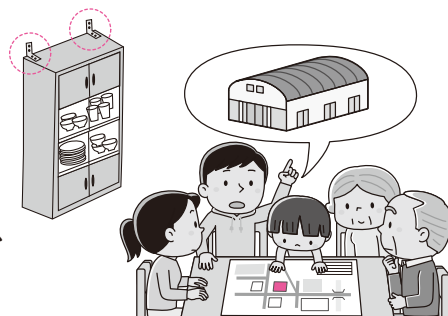
⇒背の高い家具や本棚、テレビなど地震の時には、とても危険です。
倒れないように日ごろから対策をしましょう。

家族との集合場所や連絡場所を決めよう

⇒お仕事や学校など家族が自宅にいない時に災害が起きた時のために、
集合場所や待ち合わせ場所、どこかの避難所かを決めておきましょう。

近所を知っておきましょう

⇒災害時には、協力や助け合いが必要です。一人では不安でもご近所や友人がいれば安心して行動できます。



災害の伝達手段として、防災無線、メール配信をおこないます。

防災行政無線

無線機を希望される家庭に配布しています。朝晩に無線の受信確認のため、町の情報を流しています。受信できない場合は町民安全課までお問い合わせください。

メール配信「あんしん・安全ねっと」

「あんしん・安全ねっと」とは？

地震や台風等で町内に災害が起きたとき、事前に登録していただいた携帯電話、またはパソコンのメールアドレスに、気象警報、地震、避難勧告や避難指示、避難所情報などの情報が配信されるシステムです。希望される方は、次のアドレスに空メールしてください。
oguchi@entry.mail-dpt.jp

町民安全課

<大口町役場1F> TEL(0587)95-1966



毎朝7時「ほほえみはブーケにして」の音楽から始まります。爽やかな一日の始まりです。

コロナのワクチン接種のために大口町公式LINEアカウントに登録した方も多いと思いますが、それとは別です。こちらも是非、登録を！

夏休みチャレンジ講座2021

8月3日(火) ほほえみホール

まみーぽけっとは、「キャンディパックを作ろう」を行いました。
24名の小学生の参加がありました。
可愛い作品ができました。



社協だより第115号(令和3年7月号)の12ページ『ぎゅっと 大口中保育園一時預かり事業』において、
【お詫びと訂正】誤りがございました。お詫びして訂正させていただきます。
正)1日当たり6人以内 誤)1日当たり5人以内

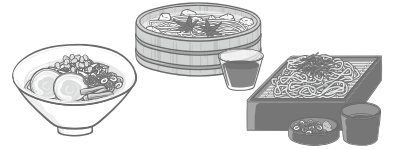


今回は、高齢者の健康に役に立つ『クイズ』です。皆さんはどれくらいご存じでしょうか？

水分は意外と必要だとか、食べるタイミングで効果が違ったり、昔から食べられている物が健康にとってもいい物だったりしますので、楽しみながらクイズに挑戦してみてください！

第1問

認知症の予防になる「ルチン」を含む麺があります。
『ラーメン』、『そうめん』、『そば』のうち、どれでしょうか？



ヒント

「ルチン」とは、ポリフェノールの一種で、血管を強化し、抗酸化作用で脳の機能を正常に保つ作用があります。

答え:

第2問

一日に必要な水分量は、
『1リットル』、『1.5リットル』、『2リットル』、『2.5リットル』のうちどれでしょうか？



ヒント

1日に失われる水分量は、尿・便1.6ℓ、呼吸・汗0.9ℓです。
(厚生労働省「健康のために水を飲もう」推進運動より)

答え:

リットル

第3問

ヨーグルトは食べるタイミングによって、整腸効果が変わります。
もっとも効果的に食べるタイミングは、
『食前』、『食後』のどちらでしょうか？



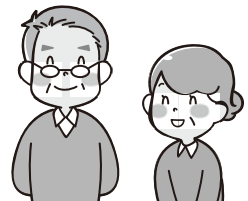
ヒント

ヨーグルトに含まれる乳酸菌は『胃酸』に弱いのですが、胃の中に食べ物があると胃酸は薄まり、影響を受けにくくなります。

答え:

第4問

『笑顔』は人の免疫力を上げると言われています。
それでは『つくり笑い』は、
免疫力を上げることが**できる**でしょうか、**できない**でしょうか？



ヒント

脳は表情筋の動きに反応して、免疫細胞(ナチュラルキラー細胞)を活性化させ、うつ状態を改善するドーパミンの分泌を促し、脳内の血流を増加させる働きがあります。

答え:

第5問

江戸時代から飲まれている「飲み物」で体にとても良く、
現代では『飲む点滴』と言われている飲み物は**何**でしょうか？



ヒント

体の中で作ることができず、食事で摂らなくてはならないアミノ酸や食べ物をエネルギーに変えるビタミンB群を豊富に含む、『米麹』が原料です。

答え:



じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金



Art by R_pro_09

©Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

10月1日赤い羽根共同募金が始まります

- 毎年、共同募金運動に多くの町民の皆様のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。
- 今年度も、次の方法により募金活動を実施いたします。
- 区長さんを通じて各家庭に寄付をお願いする「戸別募金」
- 町内企業・法人様に寄付をお願いする「職域募金」「法人募金」
- 町内小中学校での「学校募金」
- 赤い羽根協力店（スーパー）での募金など

新型コロナウイルスの感染拡大が依然続く中でのお願いになり、大変恐縮でございますが、今年度も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



大口町共同募金委員会
会長 村田 貞俊

令和3年度 共同募金目標額
3,650,000円
令和2年度実績額 3,216,001円

赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

たくさんのご応募ありがとうございました。
入選作品の広報での発表は、社協だより1月号を予定しています。

●学校推薦作品の展示予定

展示日程	展示場所
9月28日(火)～ 10月8日(金)	大口町役場本庁舎1階 会計室前ロビー
10月12日(火)～ 10月25日(月)	MEGAドン・キホーテ UNY大口店 2階

展示日程および場所について、予告なく変更となる場合がございますので、予めご了承ください。

赤い羽根共同募金のつかいみちの情報公開は

赤い羽根データベースはねっと

検索



赤い羽根共同募金のつかいみち

みなさまから寄せられた募金の約88%は、社会福祉協議会が取り組む大口町の地域福祉とまちづくりに。残りの約12%は、愛知県内の広域的な福祉活動に活用されています。

大口町での活用実績は、P.7～P.9の令和2年度社協事業報告の赤い羽根マークの事業をご覧ください。



大口町の地域福祉活動を支える、赤い羽根

写真 左上下：大口南小学校 6月21日(点字教室、視覚障がい者ガイドヘルプ)、
右上：さつきヶ丘区ふれあいサロン 8月18日、右下：米寿祝い品贈呈



災害への備え 非常用電源装置を整備

令和3年3月末まで実施したテーマ型募金により、健康文化センター2階社協事務所に非常用電源装置を整備させていただきました。誠にありがとうございました。いつでも活用できるよう常備しています。

赤い羽根協力店で 職員がPRします

コロナ禍のため、社協職員のみで募金のPRを行います。お見かけの際は、どうぞよろしくお願い致します。

●実施予定店舗 ヨシヅヤ大口店様、
MEGAドン・キホーテUNY大口店様



●令和2年度 災害義援金送金実績報告

義援金名称	送金額
熊本県南豪雨義援金	106,641円
令和2年7月豪雨災害義援金(島根県・山形県・佐賀県・大分県・鹿児島県・福岡県の6県に按分して送金)	43,160円
平成30年7月豪雨災害義援金(広島県・岡山県・愛媛県の3県に按分して送金)	2,301円
平成28年熊本地震災害義援金	3,524円
令和元年台風第19号災害義援金(福島県・宮城県の2県に按分して送金)	1,954円

●募集中の災害義援金

社会福祉協議会の窓口で、義援金箱を設置しています。

令和3年7月豪雨災害義援金(静岡県、広島県)

令和3年8月豪雨災害義援金(福岡県、長崎県、青森県、佐賀県、長野県)

大口町共同募金委員会 令和2年度事業報告

- 共同募金運動を実施
(令和2年10月1日～令和3年3月31日)
- 共同募金配分金事業のPR
- 募金機能付自動販売機を健康文化センター1階、軽費老人ホーム一期一会荘様1階に設置
- 赤い羽根児童生徒作品コンクールの作品審査、展示
- 災害復興義援金の募集・送金を実施
(左表のとおり)
送金額合計 157,580円

お問い合わせは 大口町共同募金委員会(大口町社会福祉協議会事務局内)

大口町伝右一丁目35番地(健康文化センター2階) TEL 94-0060 FAX 94-0059

新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が減少し生活に困窮する方へ



生活福祉資金の特例貸付 申込期間を令和3年11月末日まで延長

(令和3年9月時点)



新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、収入が減少し、生活に困窮している世帯を対象に、社会福祉協議会が、無利子・無担保で、資金をお貸しします。

※生活福祉資金の特例貸付は、国の生活支援の施策として実施されているものです。

●相談・申込先 社会福祉協議会

電話：94-0060

健康文化センターほほえみプラザ2階

受付時間：(月～金曜日 9:00～17:00)

※相談・申請は予約制です。事前に電話等で予約してください。必要により時間外も相談に応じます。

緊急小口資金

- 緊急かつ一時的な生活費が必要な場合
- 貸付上限額 20万円
- 据置期間 1年以内
- 償還期限 2年以内

総合支援資金

- 緊急小口資金を借入後、なお生活再建までの一定期間の生活費が必要な場合
- 貸付上限額 (二人以上世帯) 月20万円以内
(単身世帯) 月15万円以内
- 貸付期間 原則3月以内
- 据置期間 1年以内
- 償還期限 10年以内

※詳しくは社会福祉協議会へお問い合わせください

心配ごと相談所開設日程

内容	母子・父子自立支援相談 女性相談 10:00～15:30	女性相談 10:00～15:30	高齢者・障がい者の 弁護士相談 13:30～16:30
月			
10月	6日(水)	20日(水)	27日(水)
11月	10日(水)※	17日(水)	24日(水)
12月	1日(水)	15日(水)	22日(水)

※原則週の水曜日が祝日のため、日程が変更されています。

- 緊急事態宣言発出時は、原則電話相談となります。
- 弁護士相談は事前予約制。その他の相談は予約優先です。

予約・問合せ先 社会福祉協議会

電話 94-0060 FAX 94-0059

母子・父子自立支援相談ご案内

ひとり親家庭のお母さん、お父さん、生活や仕事、子育てなどの困りごとはありませんか？愛知県尾張福祉相談センターの母子・父子自立支援相談員が、相談やアドバイスをを行います。お気軽にご相談ください。



お子さんの来年度の進学費用に不安があり、資金を借りたい方は、できるだけ早く母子・父子自立支援員へご相談ください。申込みが遅くなると、受付できない場合がありますのでご注意ください。

善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。
順不同(6月1日～8月31日 取扱い分)



匿名 (株)東海理化 様 リンナイ(株) 様 (株)シルビア 様 自閉症協会愛知支部 様 吉田 かよ子 様 匿名	7,700円 防災備蓄品 968個 保存用ビスコ 1,080個 ドーナツ、ビスケット 420個 手芸用品一式 紙おむつ 車いす1台、ポータブルトイレ1台、 杖2本、タッチアップスタンド1台、 紙おむつ、処理袋 匿名(大口町・扶桑町・江南市の住民の方)
	フードドライブ食料品 13件 322個